

第4回 がんゲノム医療に関する調査

Topics

- ✓ 遺伝子パネル検査の保険適応取得後1年6ヶ月時点において、**CGP目的の遺伝子パネル検査を実施したことがあると回答した医師は調査回答医のうち25%**。
施設別では、医師割合・患者割合いずれにおいても、非ゲノム施設に比べてがんゲノム認定施設での実施割合が高く、前回調査時(保険適応取得後1年時点)から引き続き、施設差が顕著となっていた。
- ✓ CGP検査に関する懸念点は、「必ずしも治療法が見つかるわけではないことの説明」「遺伝性腫瘍が見つかる可能性や家族への影響の説明」など**患者説明**が施設問わず上位であった。施設別では、ゲノム医療中核拠点病院・拠点病院では「検体量や質の確保」を挙げた医師が多い一方、非ゲノム施設では「エキスパートパネルに主治医が参加必須であること」などが多く挙げられ、**実施経験の差から懸念するポイントが異なっている**と考えられる。
- ✓ 直近3ヶ月間に**肺がん初回治療前のコンパニオン検査として遺伝子パネル検査が実施された患者割合は30%**であり、緩やかにその割合が伸びている。
パネル検査を実施しない患者がいる理由として多く挙げられたのは「**検体量の確保**」であった。(同項目は前回3位→1位へ)

※CGP：包括的ゲノムプロファイリング

調査背景・目的

- ✓ 2019年6月に遺伝子パネル検査が保険適応を取得し、本邦におけるがんゲノム医療がスタートして約1年半が経過した。
- ✓ 現在の遺伝子パネル検査の浸透状況や医師が抱える課題、さらに今後どのようにゲノム医療が浸透していくのかを継続的に把握していくために調査を行った。

調査概要

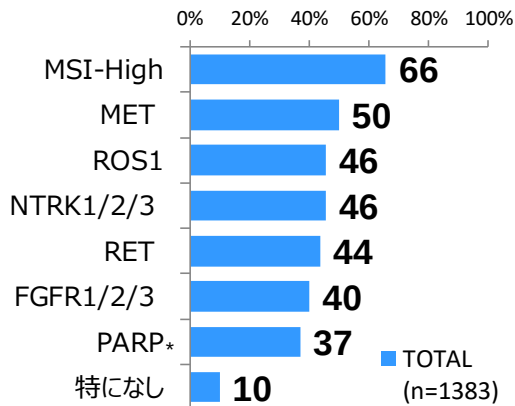
調査方法 : インターネット調査 (全国)
 使用パネル : プラメド保有医師パネル (弊社子会社)
 調査期間 : 2020年11月17日～30日
 対象 : 100床以上の施設に勤務しており、直近1年間に固形がん患者5名*以上に対して抗がん剤治療を実施した医師
 *小児科医の場合は1名以上
 有効回答数 :

TOTAL	がんゲノム医療 中核拠点病院 ・拠点病院	がんゲノム医療 連携病院	左記以外の がん拠点病院	がん拠点病院 以外
1383s	259s	334s	236s	554s

調査結果 ※一部抜粋

遺伝子変異／融合遺伝子 認知度

Q. 以下の遺伝子変異／融合遺伝子などのうち、先生が見聞きしたことがあるものをすべてお知らせください。

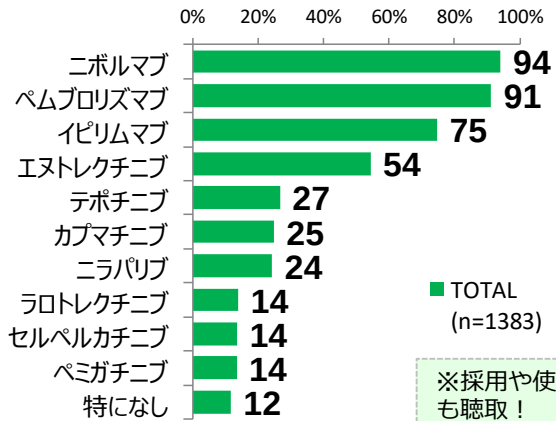


*BRCA1/2

※遺伝子パネル検査において薬剤に結び付く変異・薬剤を聴取（開発中も含む）

新規薬剤 認知度

Q. 以下の薬剤のうち、先生が見聞きしたことがある薬剤をすべてお知らせください。



※採用や使用経験も聴取！

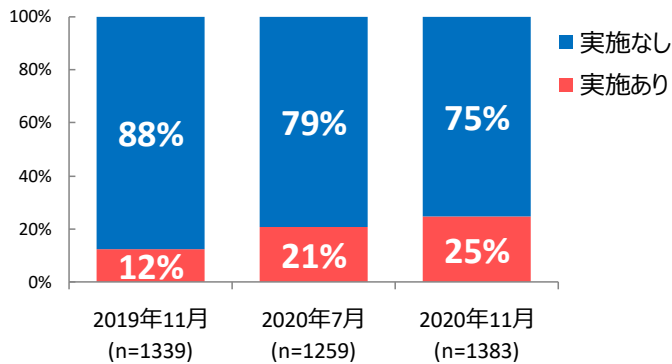
<CGP目的>

遺伝子パネル検査実施有無

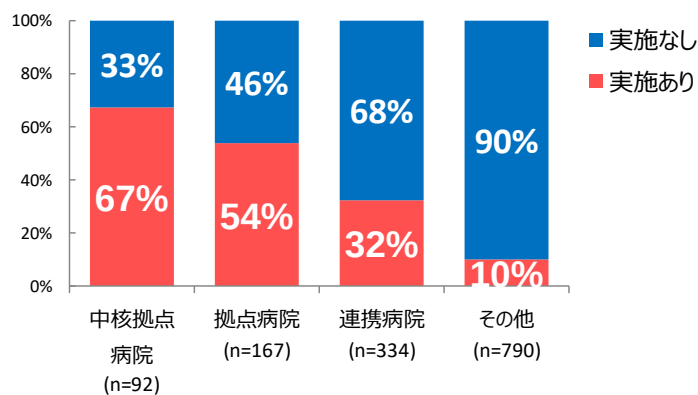
Q. 先生は直近1年間にNGS等による遺伝子パネル検査を実施したことはありますか。

※保険診療にて実施

<回答医全体 時系列>



<がんゲノム医療施設別>

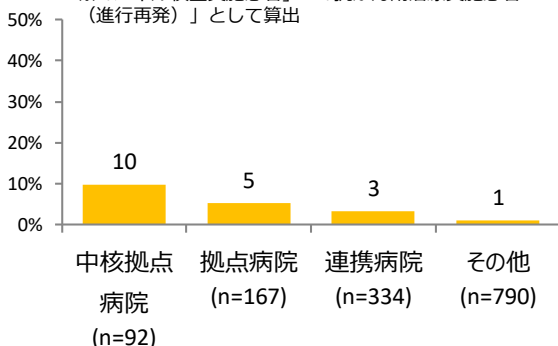


<CGP目的>

遺伝子パネル検査実施患者割合

<がんゲノム医療施設別>

※「パネル検査実施患者」÷「抗がん剤治療実施患者（進行再発）」として算出

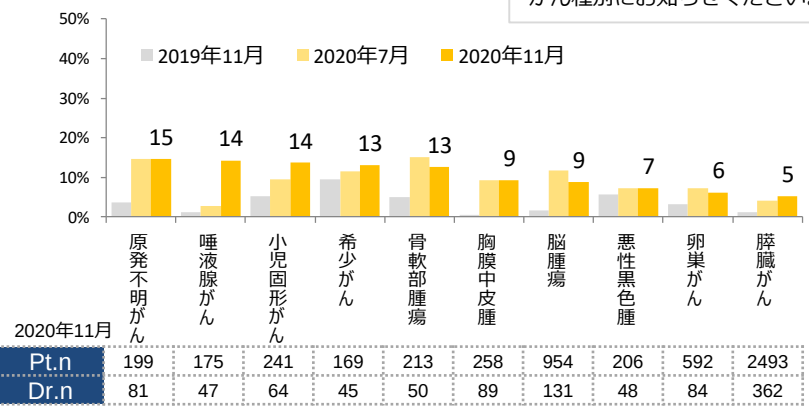


<CGP目的> がん種別

遺伝子パネル検査実施患者合

※TOP10のがん種を抜粋

Q. 先生が直近1年間に、保険診療にてCGPを主な目的として遺伝子パネル検査を実施した患者さんについて、がん種別にお知らせください。



※「各がん種のCGP検査実施患者数」÷「各がん種の抗がん剤治療実施患者数」として算出

インテグレーションヘルスケア・自主企画調査レポート

CGP検査に対する懸念 【TOP10抜粋】

Q. CGP目的の検査について、先生が現在懸念されていることについて、以下のうちあてはまるものをすべてお知らせください。

※各セグメントごとTOP5を色付け

		中核拠点 ・拠点病院 (n=259)	連携病院 (n=334)	その他 (n=790)
患者 説明	必ずしも治療法が見つかるわけではない	58%	57%	54%
	遺伝性疾患が見つかる可能性と家族への影響について	46%	46%	48%
	患者さんへの説明も不慣れ／定まっていない	30%	38%	50%
	治療法が見つかって、適応外／本邦未承認の薬剤である可能性	35%	41%	44%
	検査に必要な検体量の確保	42%	34%	38%
	エキスパートパネルに主治医・担当医が参加必須である ※リカ可	30%	33%	41%
	検査実施可能な検体の精度の担保	41%	33%	37%
	返却されたレポートの解釈が難しい場合がある	27%	31%	36%
	自身の知識・勉強	21%	30%	38%
	一定の割合で解析不可／エラーで返ってきてしまう	24%	28%	32%

※以下、「専門知識に関するスタッフの教育体制」「費用対効果や医療費全体への影響」「結果説明の前に患者さんが亡くなる／来院が途切れる等で費用が一部保険償還されなくなる」などが続く。全20項目を聴取。

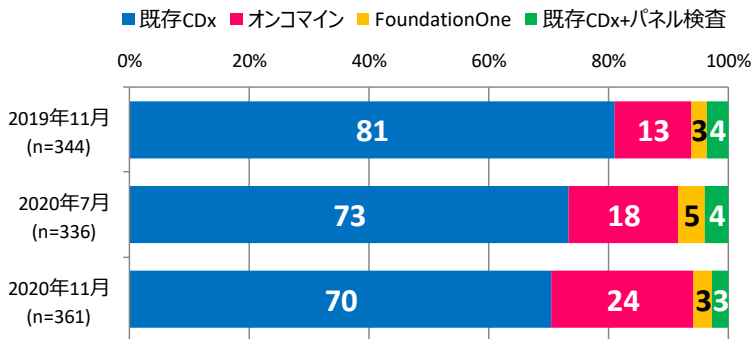
【肺がん】既存CDxとの使い分け

Q. 最近3ヶ月間に新規に治療を開始した切除不能・進行再発 非小細胞肺がん患者さんに対する初回治療前の遺伝子検査について、その内訳をお知らせください。

<回答：肺がん治療医>

*Non-SQ新患を100とした患者割合

*2019年11月はEGFR検査実施患者を100として聴取

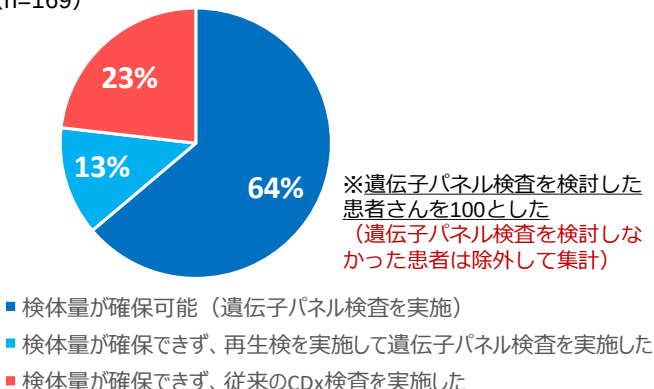


遺伝子パネル検査を実施しない患者がいる理由は、
1位：検査に必要な検体量を確保することが難しい
2位：従来のCDx検査の組み合わせで問題ない
3位：まだNGSを用いた検査体制が整っていない
 が回答として上位に挙げられた。

【肺がん】遺伝子パネル検査のための 検体量が確保できる患者割合

Q. 最近3ヶ月間に初回治療前のコンパニオン検査を実施した患者さんを100として、遺伝子パネル検査に十分な検体量を得られたかどうか、以下の内訳を患者割合でお知らせください。

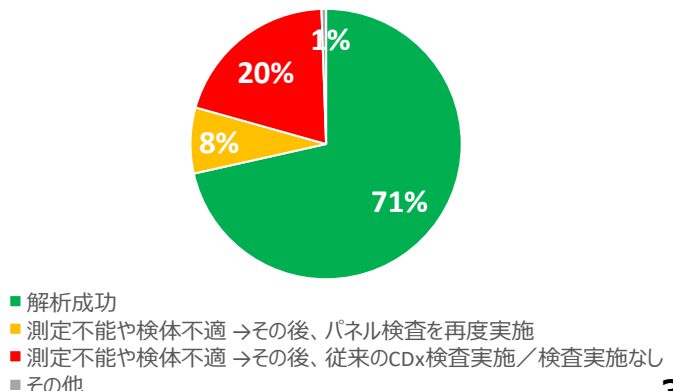
<回答：CDxとしてパネル検査を検討した患者がいる医師>
(n=169)



【肺がん】オンコマイン 検査結果別の患者割合

Q. オンコマインを実施した患者さんについて、これまでに「測定不能」や「検体不適」など検査結果を得られなかった患者さんはどの程度いますか。以下の内訳をお知らせください。

<回答：オンコマイン実施医> (n=202)



考察

- ✓ CGP、CDxいずれにおいても「検体量・質の確保」が課題の上位に挙げられ、特にパネル実施経験の多い医師ほど実感しているようだ。肺がんCDxではパネル検査に十分な検体量を確保できない患者が36%であり、うち13%は再生検をしてまで検体確保を試みている。さらに検体十分で検査を実施しても、何らかの理由で解析結果が得られない患者は28%であった。
- ✓ オンコマインのメリットは多い一方、EGFRなど患者割合が多い遺伝子変異が適切に検出できないと患者にとっては不利益となる可能性が高い。施設によって解析成功率が異なる傾向もあり、きちんと検査結果を得るためには「どんなサンプルが」「どの程度が必要十分なのか」などの情報が、広く正しく普及していくことが重要である。また、呼吸器科医と病理医の関係性や各者の考え方など、技術面以外に影響する要因なども検証したい。
- ✓ 保険適応取得から1年半が経過し、パネル検査の症例数蓄積とともに見えてきた課題も多い。エキスパートパネル開催に伴う中核拠点・拠点病院の負担や、検査結果をいかに治療につなげていくかなど、今後の発展に着目していきたい。

調査項目 ※一部抜粋

浸透度	■ ゲノム医療・パネル検査 認知度(全体) ■ パネル別 採用・使用経験有無 ■ 遺伝子変異/新規薬剤 認知・採用・使用有無
実態把握	■ がん種別 遺伝子パネル検査実施患者数（保険診療） ✓ CDx/CGP目的別、パネル検査別、実施タイミング別 ■ CDx目的のパネル検査使用状況 ✓ 検査の成功率 ✓ 既存CDxとの使い分け（肺がん、乳がん、卵巣がん、大腸がん、悪性黒色腫、MSI検査）
マインド把握	■ 今後の遺伝子パネル検査実施意向 ■ リキッドバイオプシーによるパネル検査に対する期待・懸念・実施タイミング ■ がんゲノム医療に対する懸念点
情報入手	■ がんゲノム医療に関する情報入手経路 ■ がんゲノム医療に関して欲しい情報

★約1600名を対象とした患者調査も実施（2020年7月）

★第5回医師調査を企画（2021年5月頃実査予定）

データ詳細についてはお気軽にお問合せください。

「遺伝子検査をよくやってる先生は何科？」「施設間の違いはある？」「ターゲット医師の評価は？」 etc...



➤ ローデータ+集計データ 180万円（税別）

※ターゲット医師のマッチングや、詳細分析、アウトプット作成等は別途ご相談ください。

オンコロジー領域の調査は、インテージヘルスケアへ！

本調査に関する
お問い合わせ

www.intage-healthcare.co.jp
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ13階 電話：03-5294-8393（会社代表）
メディカル・ソリューション部 オンコロジー領域専門グループ
メール：ant-onc@intage.com
担当：安達（あだち）・森田（もりた）